

# 社会科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025 年（令和 7 年）10 月 31 日（金）
- 2 学年 自閉症・情緒障害特別支援学級 3 組 第 3 学年（5 名）
- 3 単元名 はたらく人とわたしたちの暮らし～店ではたらく人の工夫を知ろう～（東京書籍）
- 4 単元について

## （1）児童観

本学級の児童は、既習の単元「市の様子」「はたらく人とわたしたちの暮らし～工場の仕事～」の学習において、複数の資料から必要な情報を抜き出したり、比べたりしながら調べる活動を行った。調べ学習の回数を重ねるたびに必要な情報を、図書資料やタブレットなどから得ることはできたが、調べて得た情報を比べたり分かりやすくまとめたりする力は十分ではない。

### 〈児童の個別の実態〉

A 児	B 児	C 児	D 児	E 児
〈調べ学習の知識・技能〉 ・資料を読んで、必要な情報とそうでない情報を取捨選択できない。  〈調べ学習の思考力・判断力・表現力〉 ・集めた情報の羅列はできるが、情報と情報を関連付けられない。	〈調べ学習の知識・技能〉 ・資料の中から必要な情報を見つけることができるが、まとめられない。  〈調べ学習の思考力・判断力・表現力〉 ・必要な情報同士を関連付けたり、自分の言葉で表現したりできない。	〈調べ学習の知識・技能〉 ・資料に書いてあることは、主に写真や絵などから読み取っている。文章が理解できていない。  〈調べ学習の思考力・判断力・表現力〉 ・関連付けたり、資料から考えたことを表現したりすることができない。	〈調べ学習の知識・技能〉 ・必要な情報を見つけることはできるが、調べたことをそのまま書いてしまう。  〈調べ学習の思考力・判断力・表現力〉 ・情報の整理が苦手で、簡潔に文章で記述することができない。	〈調べ学習の知識・技能〉 ・複数の資料から必要な情報を見つけて、まとめることができる。  〈調べ学習の思考力・判断力・表現力〉 ・場面緘黙で、話すことは難しいが、調べて考えたことを記述することはできる。短くまとめることには課題がある。

## （2）単元観

本単元は、販売の仕事を行う人は、消費者の多様な願いをふまえ、売り上げを高めるための、工夫について理解し、主体的に身近な社会の仕組みを調べていく態度を養うことをねらいとしている。本単元でとり上げるスーパーマーケットの仕事は、児童にとって身近な仕事のひとつである。そのため、「スーパーマーケットにこんな物があるといいな。」「ここのお店のこんな所が好き。」など、消費者目線で思考することができる。また、近くのスーパーマーケットの見学をしたり、図書館の本を使ったり様々な調べ方をすることができる単元でもある。そのため、販売の仕事を行う人の工夫について、資料集めがしやすく、資料同士を比べたり関連付けて考えたりすることがやりやすい単元である。

### (3) 指導観

本単元では、「つかむ段階」で小単元を貫く課題として「スーパーマーケットで働く人達は、どうやってお客さんが買い物をしたくなるお店作りをしているのだろう。」という学習問題を設定する。児童に、「実際に買い物をしている家族に伝える新聞作りをする」ということを伝え、目的意識をもって活動ができるようにする。児童宅の買い物調べを行い、日頃の自分や家族の買い物の様子を調べたり振り返ったりする中で「家族がどのような目的でどのお店に買い物に行っているか。」や、「買い物をする際にどんな工夫をしているか」について調べたことを交流し、消費者の多様な願いを把握する。また、売り場の並べ方の工夫や品質管理などを実際に見学したり調べたりする活動を通して、販売者の工夫を理解し、スーパーマーケットが自分たちの生活に欠かせない場となっていることに気付くことができるようにする。その際、「スーパーマーケットで働く人が、消費者の願いをふまえてどのような工夫をしているのか。」を考え、消費者と販売者の需要と供給の関係性を実際の場面と照らし合わせて理解させる。「調べる段階」では、「つかむ段階」で出た、消費者の願いである「商品の多様さ」「新鮮さ」「欲しい物がすぐ見つかる便利さ」などについて、実際にスーパーマーケットの見学をしたり、図書館の本を利用したりして調べたりする。それらの活動を通して、消費者の願いと販売者の工夫を線でつないだり同じグループに分けたりしながら、関連付けて考えを深める力がつくと考える。調べ学習を行う際に、情報を関連付けることが苦手な児童には、図や表を使って、矢印等を使ってつながりを意識させたり、情報の取捨選択が苦手な児童には、見る視点を提示したりするなど調べ学習を自力で行うための配慮をする。「まとめる段階」では、スーパーマーケットで働く人は、お客さんの多様な願いにこたえるために様々なサービスをしており、それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっていることにも気付かせる。情報をまとめていく際に、全体で今まで得た情報を集め、表や図で分類し、それぞれに見出しをつける活動を行うことで、新聞にまとめる前の構成を組み立てる。

学校図書館の活用については、2通りの利用の仕方を行う。1つ目は、地域にみられる生産や販売の仕事は、自分たちの生活と身近な所でつながっていることに気付かせるために利用する。スーパーマーケットの見学だけでなく複数の図書資料を活用して、消費者の願いと関連付けて説明したり、様々な工夫を分類したりしながら、考えを表現できるようにする。2つ目は、まとめていく方法として新聞に分かりやすくまとめていくために、実際の新聞や新聞作りの図書資料を利用する。

## 5 本単元の目標と評価規準

### (1) 本単元の目標

- 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解する。 【知識及び技能】(2) ア (イ))
- 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。 【思考力、判断力、表現力等】(2) イ (イ))
- 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。 【学びに向かう力・人間性等】

(2) 評価規準

( ) 内は鷹取中学校区育成する力(資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	思考・判断・表現 (課題発見・解決力)	主体的に学びに取り組む態度 (主体性)
① 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。	① 地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

6 単元計画(全12時間)

次	時	学習活動案	学校図書館活用のポイント	評価規準
一	1	○地域にある様々な種類の店を交流し、理解する。 (宿題として、どんなお店に買い物に行くのかとその理由を保護者にインタビューする。)	・スーパーマーケット、コンビニ、個人商店など様々な種類の店の本と比べられるようにする。	・地域には、様々な種類の店があることを理解している。(発言)【知①】
	2	○買い物調べの結果を交流し、利用頻度の多かったお店とその理由を考える。		・店によって利用する理由は異なるが、日常的にスーパーマーケットの利用が多いことを理解している。(ノート)【知①】
	3	○スーパーマーケットについて気付いたことや疑問に思ったことについて話し合い、学習問題を設定する。	・スーパーマーケットの特徴や疑問に感じたことを調べる。	・気付いたことや疑問に思ったことをもとに、スーパーマーケットとそこで働く人の様子について問いを見いだしている。(発言)【思①】
	4	○学習問題についての予想や学習計画を立てる。		・学習計画を立てている。(発言)【主①】

スーパーマーケットで働く人達は、どうやってお客さんが買い物をしたくなるお店作りをしているのだろう。

二	5 6	○スーパーマーケットの見学をし、売り場や人々の様子を見て気づいたことを交流する。		・情報を集め、読み取り、スーパーマーケットの売り場や店の人の様子について理解している。(ワークシート)【知①】
	7 8 9 (本時)	○見学で気付いたことや疑問をもとに、図書資料を使ってお店の人の様子やスーパーマーケットの売り場の特徴、品物がどこから来ているかについて調べ、情報を比べて整理する。	・スーパーマーケットの本を見て気付きをワークシートに集める。	・お客さんの願いをかなえることがスーパーマーケットの売り上げ向上につながることを理解している。(ワークシート)【知①】
三	10 11	○スーパーマーケットの工夫を新聞にまとめる。	・文章のまとめ方の本を利用して記事を作る。	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどをもとに、販売の仕事の様子や工夫について考え、表現することができる。(新聞)【思①】
	12	○地域の生産と販売の仕事について話し合い、自分の生活と結び付けた考えを交流する。	・本だけでなく、企業のパンフレットなども用意しておく。	・地域に見られる生産・販売の仕事についての学習を振り返り学習問題を追究し、解決しようとしている。 (発言)【主①】

## 7 本時の目標

スーパーマーケットの見学で得た気付きや発見をもとに、図書資料を使ってスーパーマーケットの売り場の特徴やお店の人の様子を調べて、整理する。

## 8 本時の展開（本時 8 / 12）

展開	◎学習活動 ・ 予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)	
導入 (5分)	◎見学で見つけた商品の並べ方や売り方の工夫を振り返り、本時のめあてにつなげる。 ・お客さんが買いたくなるポップがある。 ・おすすめ商品は前に出している。 →他のお店でも同じような工夫をしているのかな。見えなかった部分はどうなっているのか調べよう。	○見学で得た情報を振り返りながら、自分が知りたい仕事内容や工夫は何か考えさせる。	<div>学校図書館利用のポイント</div> <div>本によってスーパーマーケットの工夫の視点も違うため、複数の本を読み比べさせる。</div> <div>【思】</div> <div>学校図書館の本から、販売の仕事や工夫について必要な情報を集め、読み取り、考えることができる。 (ワークシート)</div> <div>深く考える仕かけ</div>	
㊦スーパーマーケットの工夫を見つけ、整理し、その共通点を考えよう。				
展開 (30分)	◎見学の視点と同じ視点でスーパーマーケットの工夫を探す。 ・料理をする人、商品を並べる人、レジをする人で服装が違うよ。→調理や品出しで違う。 ・季節の果物が入り口にあるのは、季節感を出すためなんだね。 ・いろいろな所から品物が来るのはどこのお店も一緒なんだね。  ◎集めた工夫（本で調べたこと、スーパーマーケットを見学して知ったこと）を比べて、共通点を探して整理する。 〈共通点〉 ・お客さんが気持ちよく、買い物しやすいように工夫している。 〈相違点〉 ・お店によって、売り出したい物が違う。 ・おしゃれなお店だったり、大容量の商品を売っていたりする。→個性	○なんのためにどんな工夫をしているかワークシートに集めさせる。(習熟度に合わせて3種類用意する。)  ○「集める」→「比べる」→「整理する」の流れで、個人でまとめられるようにする。  ○商品を売るだけでなく、一見商売に關係をさそう工夫もあるのか考えさせる。		
終末 (10分)	◎本時のまとめをする。  ㊦お客さんの願いをかなえたりお客さんが気持ちよく買い物ができたりするように、スーパーマーケットではたらく人は工夫をしている。			
	◎ふり返りをする。	○ふり返りの観点を提示して書かせたものを交流する。		

## 9 板書計画

㊦ スーパーマーケットのくふうを見つけ、せい理し、そのきょう通点を考えよう。

○スーパーマーケットのくふう

	品物	ならべ方	服そう	せんでん	ねだん
見学	・新せん ・いろいろな国	・季節ごとに変わる ・見やすい	・レジ、肉、魚、野菜で服がちがう。	・チラシ ・曲が流れている。	・広告の品 ・季節の物は安い。
本					

新鮮な物が食べたい。

欲しい商品をすぐ見つけたい。

お得な商品が知りたい。

☆共通点（よさ）

- ・お客さんが使いやすい。
- ・お客さんや商品を大切にしている。

- ・売るいがいのくふうをしているから。
- ・商品が手元にとどくまで、せきにんをもっている。

㊦ お客さんの願いをかなえたりお客さんが気持ちよく買い物ができたりするように、スーパーマーケットではたらく人は工夫をしている。